

2010年3月の医療機器の生産・輸入金額 (薬事工業生産動態統計調査月報平成22年3月分速報値より)

医療機器産業研究所主任研究員 中野壮陸

本資料は、厚生労働省の薬事工業生産動態統計調査月報—平成22年3月分速報が平成22年7月16日に公表されたことに伴い、大分類別に集計・分析したものである。

【データ範囲】

2009年8月から2010年3月の間：月報速報データの生産金額、輸入金額

2007年4月から2009年7月の間：月報データの生産金額、輸入金額、輸出金額、国内市場¹⁾

※薬事工業生産動態統計調査月報の速報値と確定値の間には5%程度の乖離があることが過去のデータから確認されており、本ファクトシートもそれらの影響を受けている可能性が否定できないことを予めご了承下さい。

1. 医療機器全体の生産金額、輸入金額の推移

医療機器全体における2010年3月の生産金額は1,774億円で、前月比29.7%増、対前年同月比16.3%増、輸入金額は982億円で、前月比53.1%減、対前年同月比6.3%増であった(図1、図19、図20)。生産金額は、過去1年の中で2番目に高い値を示し、3ヶ月連続増加傾向にある。一方、輸入金額は、過去1年の中で5番目に低い値を示し、前月の半分以下の値を示している。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産64.4%、輸入35.6%と生産が輸入を上回っている。前月の生産39.5%、輸入60.5%に比べ生産割合が24.9ポイント減少し、前年同月の生産62.3%、輸入37.7%と比較すると生産割合が2.1ポイント減少している(図2)。

これまで輸入割合が生産割合を上回ることが無かったにもかかわらず、過去1年の中で輸入割合が生産割合を上回る月が5ヶ月存在し、入超傾向の加速化が懸念されていたが、2010年3月に生産金額の増加と輸入金額の急減により、生産金額と輸入金額のバランスが保たれた形となった。

大分類別の生産金額では、処置用機器が395億円(構成比22.3%)で最も多く、次いで画像診断システムが384億円(同比21.7%)、生体現象計測・監視システムが230億円(同比12.9%)の順であった(図3)。上位3大分類による累積の合計金額は1,009億円(同比56.9%)である。

大分類別の輸入金額では、生体機能補助・代行機器が256億円(構成比26.0%)で最も多く、次いで、処置用機器が244億円(同比24.8%)、眼科用品及び関連製品が128億円(同比13.0%)の順であった(図4)。上位3大分類による累積の合計金額は627億円(同比63.9%)である。

なお、2009年7月の生産金額は1,333億円、輸入金額は898億円、輸出金額は395億円であり、国内市場は1,835億円であった。輸入浸透度²⁾は48.9%であった。

¹ 国内市場＝生産金額＋輸入金額－輸出金額

² 輸入浸透度＝輸入金額／国内市場

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 3 (2010年7月)

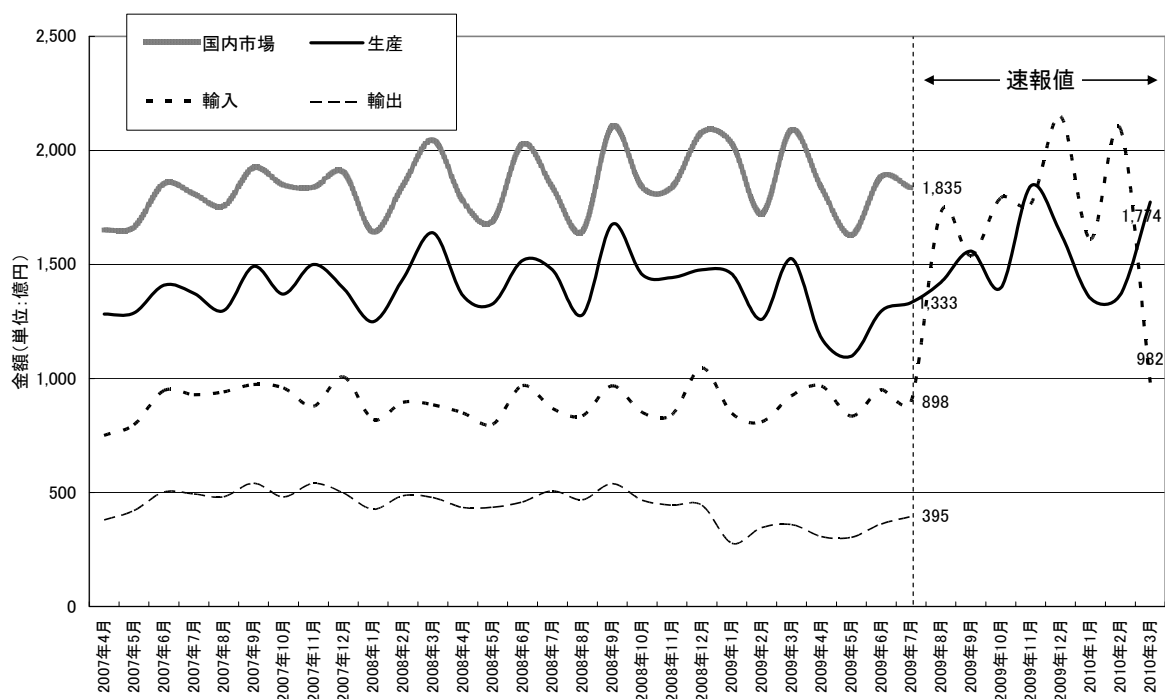


図1 医療機器全体の生産金額、輸入金額

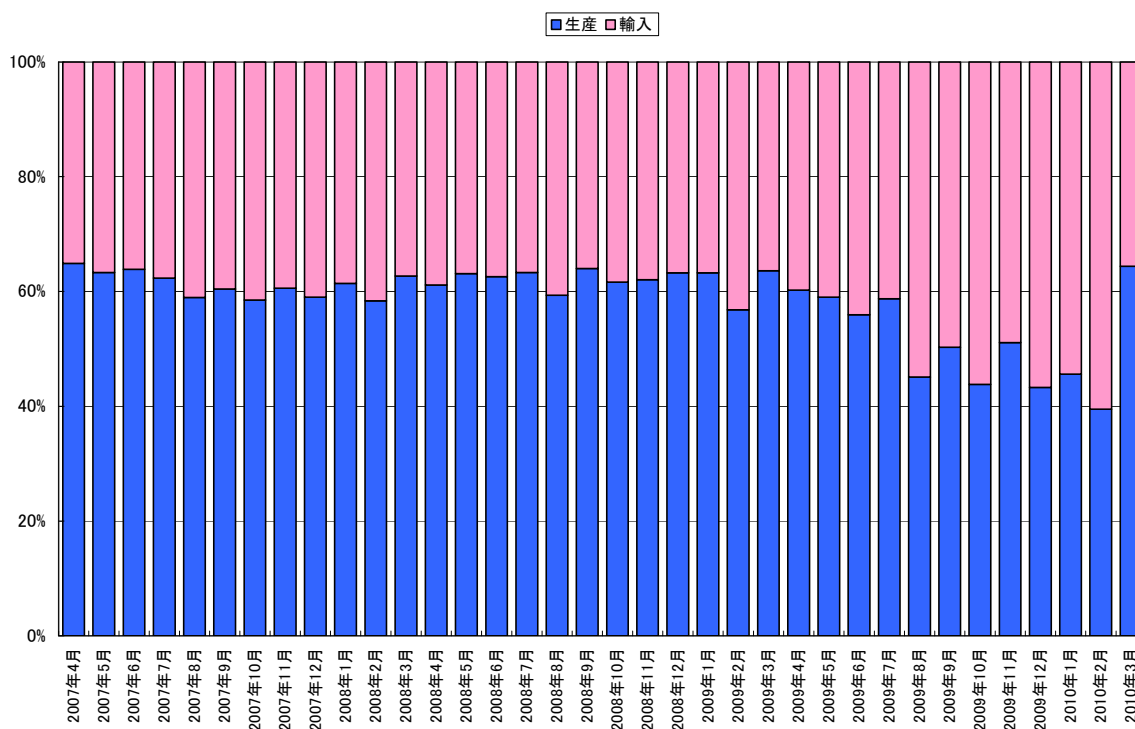


図2 生産金額と輸入金額の構成比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 3 (2010年7月)

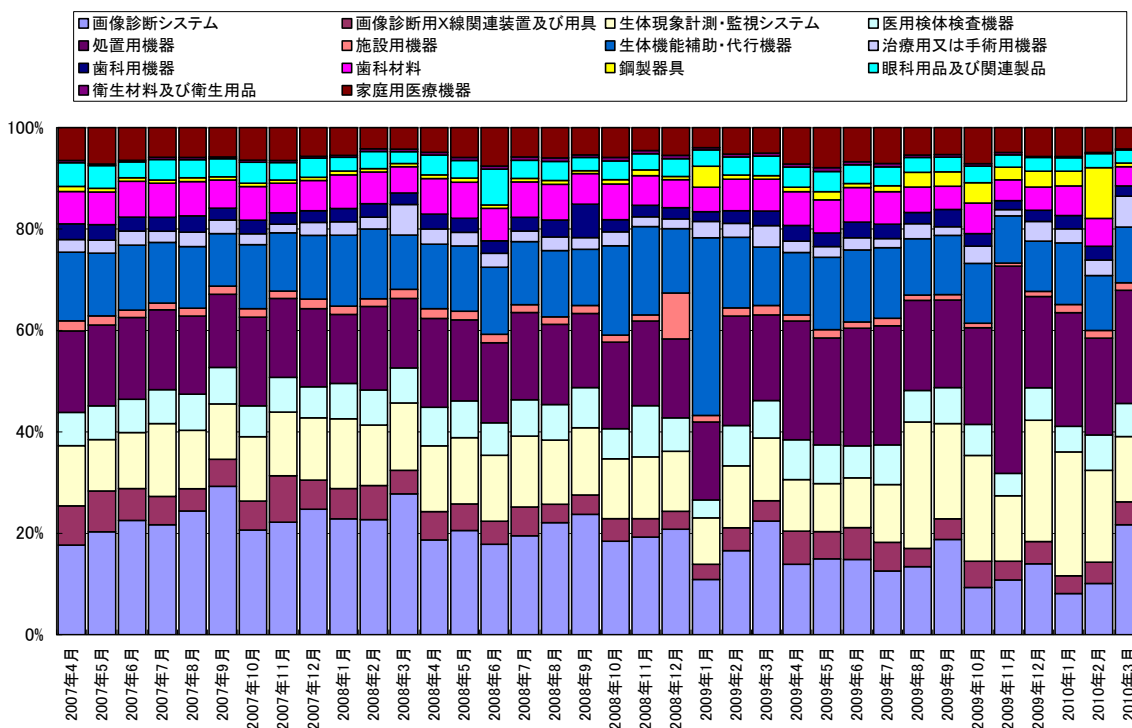


図3 生産金額の大分類別構成比

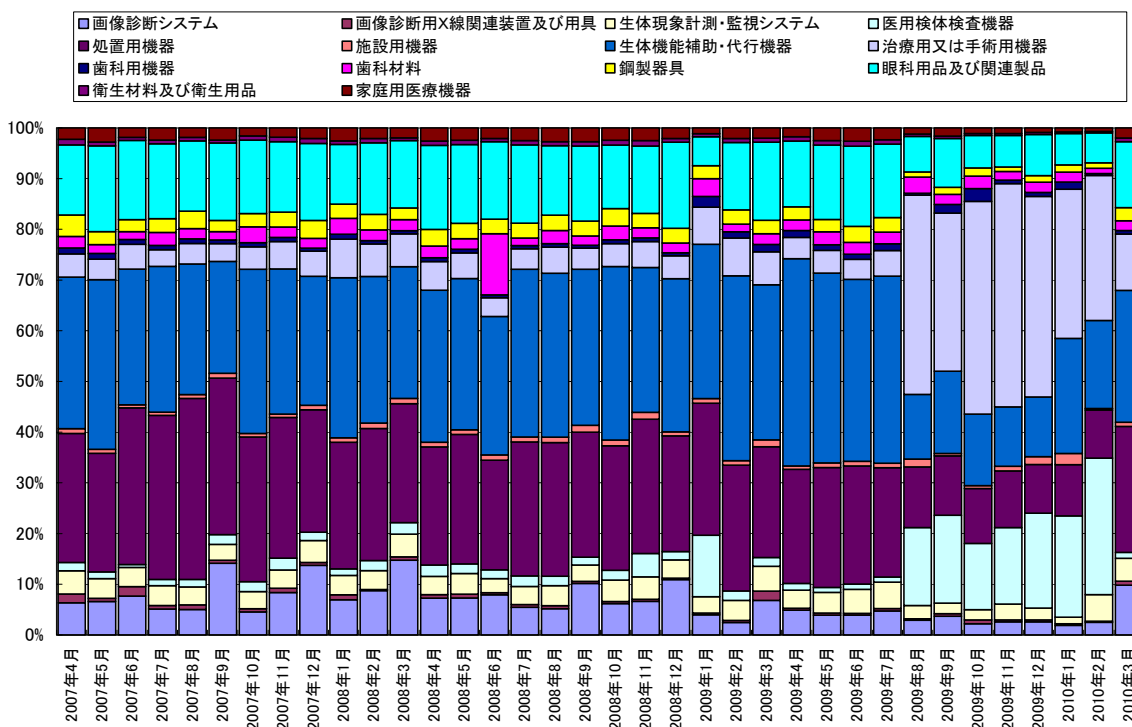


図4 輸入金額の大分類別構成比

2. 画像診断システムの生産金額、輸入金額の推移

画像診断システムにおける2010年3月の生産金額は384億円で、前月比179.5%増、対前年同月比12.4%増であった。輸入金額は96億円で、前月比85.0%増、対前年同月比52.2%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産80.0%、輸入20.0%である。前月の生産72.6%、輸入27.4%に比べ生産割合が7.4ポイント増加し、前年同月の生産84.4%、輸入15.6%と比較すると生産割合が4.4ポイント減少している。

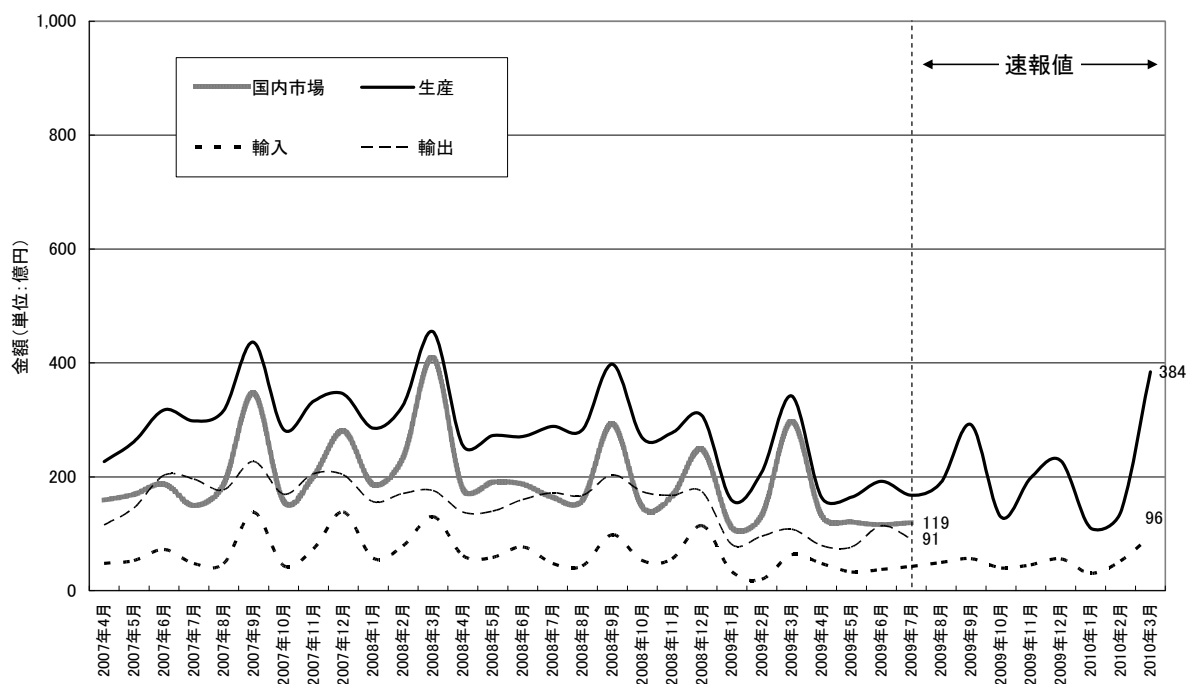


図5 画像診断システムの生産金額、輸入金額

3. 画像診断用X線関連装置及び用具の生産金額、輸入金額の推移

画像診断用X線関連装置及び用具における2010年3月の生産金額は80億円で、前月比39.3%増、対前年同月比30.3%増であった。輸入金額は8億円で、前月比89.8%増、対前年同月比53.6%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産91.2%、輸入8.8%である。前月の生産93.4%、輸入6.6%に比べ生産割合が2.2ポイント減少し、前年同月の生産78.7%、輸入21.3%と比較すると生産割合が12.5ポイント増加している。

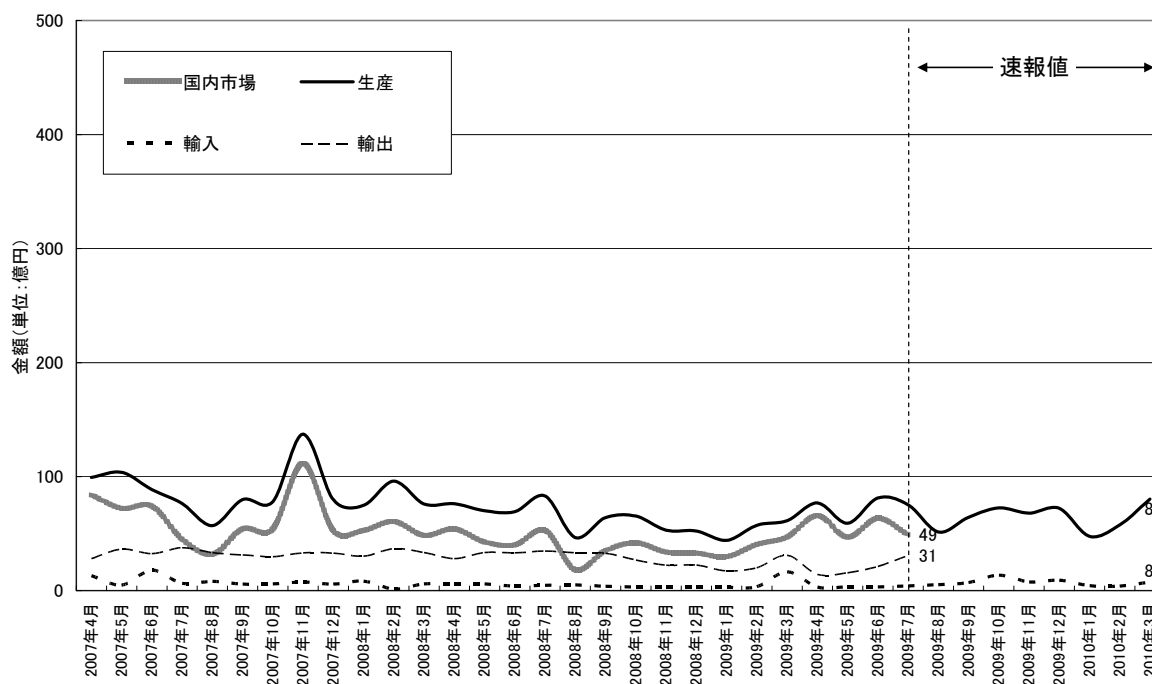


図6 画像診断用X線関連装置及び用具の生産金額、輸入金額

4. 生体現象計測・監視システムの生産金額、輸入金額の推移

生体現象計測・監視システムにおける2010年3月の生産金額は230億円で、前月比7.3%減、対前年同月比21.9%増であった。輸入金額は44億円で、前月比60.2%減、対前年同月比1.8%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産83.8%、輸入16.2%である。前月の生産68.9%、輸入31.1%に比べ生産割合が14.9ポイント増加し、前年同月の生産80.6%、輸入19.4%と比較すると生産割合が3.2ポイント増加している。

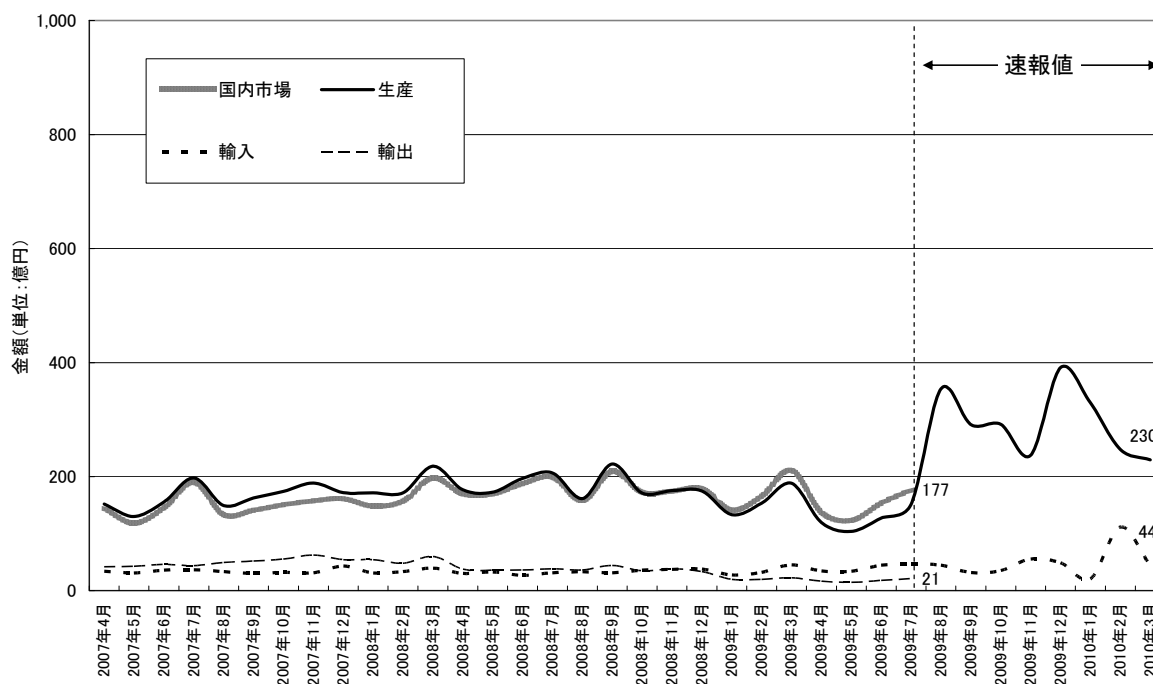


図7 生体現象計測・監視システムの生産金額、輸入金額

5. 医用検体検査機器の生産金額、輸入金額の推移

医用検体検査機器における2010年3月の生産金額は115億円で、前月比19.2%増、対前年同月比2.1%増であった。輸入金額は12億円で、前月比97.8%減、対前年同月比24.4%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産90.4%、輸入9.6%である。前月の生産14.6%、輸入85.4%に比べ生産割合が75.8ポイント増加し、前年同月の生産87.4%、輸入12.6%と比較すると生産割合が3.0ポイント増加している。

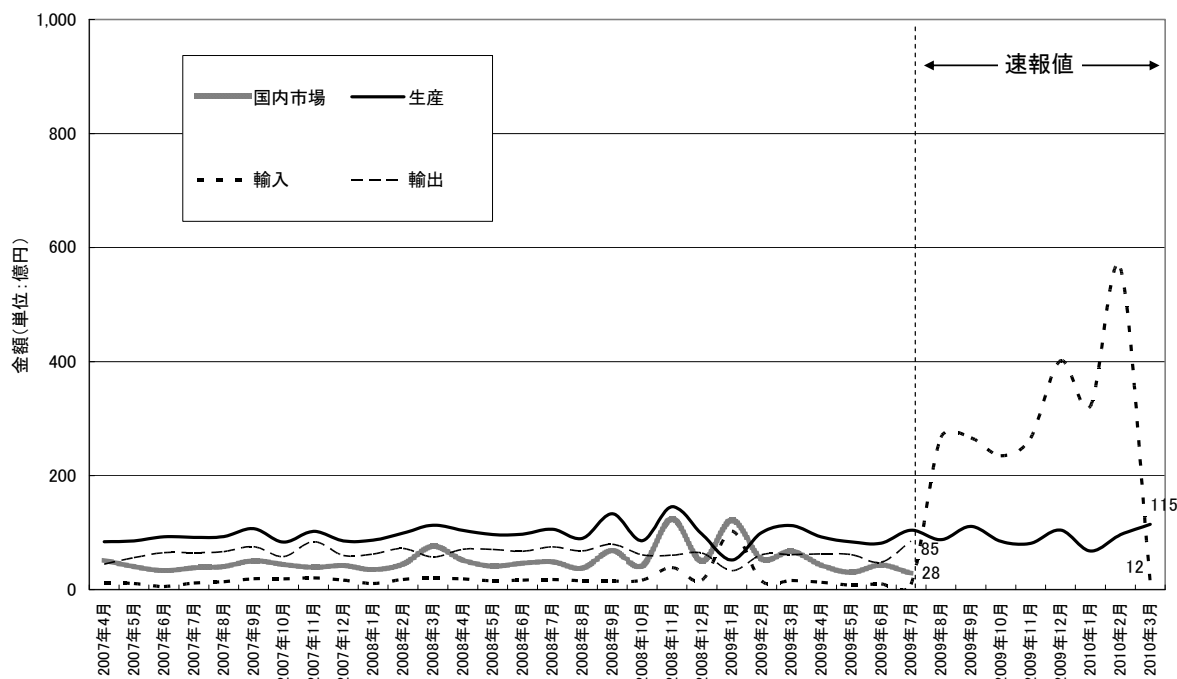


図8 医用検体検査機器の生産金額、輸入金額

6. 処置用機器の生産金額、輸入金額の推移

処置用機器における2010年3月の生産金額は395億円で、前月比51.4%増、対前年同月比53.3%増であった。輸入金額は244億円で、前月比22.8%増、対前年同月比20.9%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産61.8%、輸入38.2%である。前月の生産56.8%、輸入43.2%に比べ生産割合が5.0ポイント増加し、前年同月の生産56.1%、輸入43.9%と比較すると生産割合が5.7ポイント増加している。

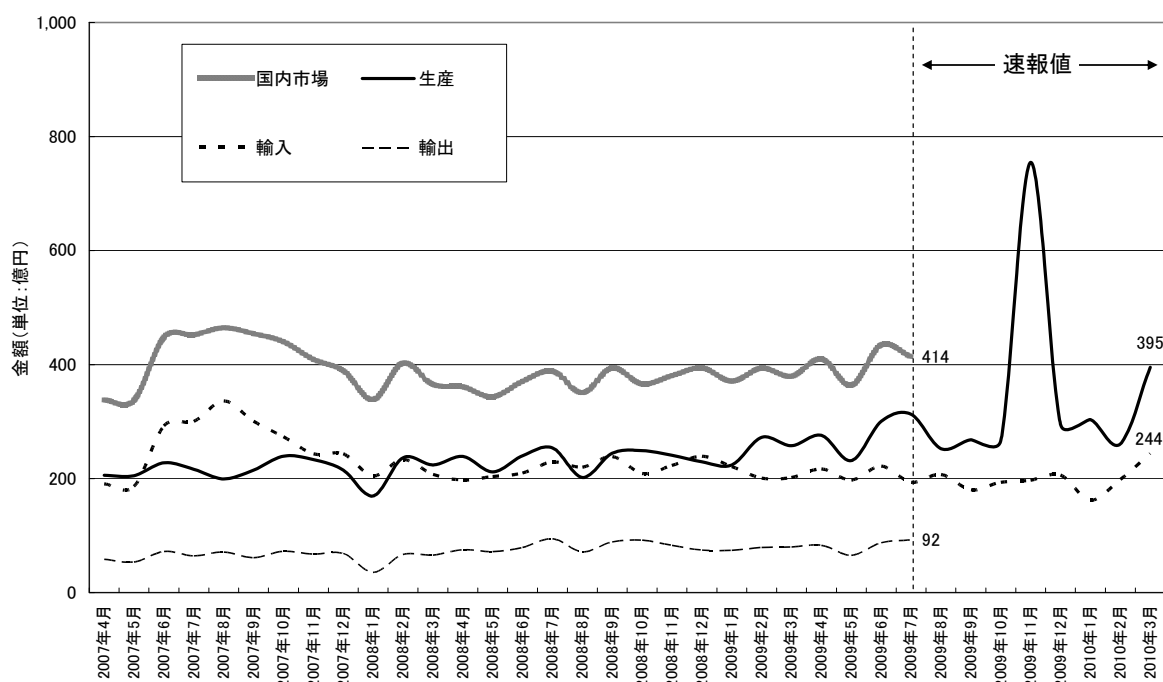


図9 処置用機器の生産金額、輸入金額

7. 施設用機器の生産金額、輸入金額の推移

施設用機器における2010年3月の生産金額は27億円で、前月比28.0%増、対前年同月比2.9%減であった。輸入金額は8億円で、前月比23.9%増、対前年同月比40.7%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産78.1%、輸入21.9%である。前月の生産77.5%、輸入22.5%に比べ生産割合が0.6ポイント増加し、前年同月の生産68.5%、輸入31.5%と比較すると生産割合が9.6ポイント増加している。

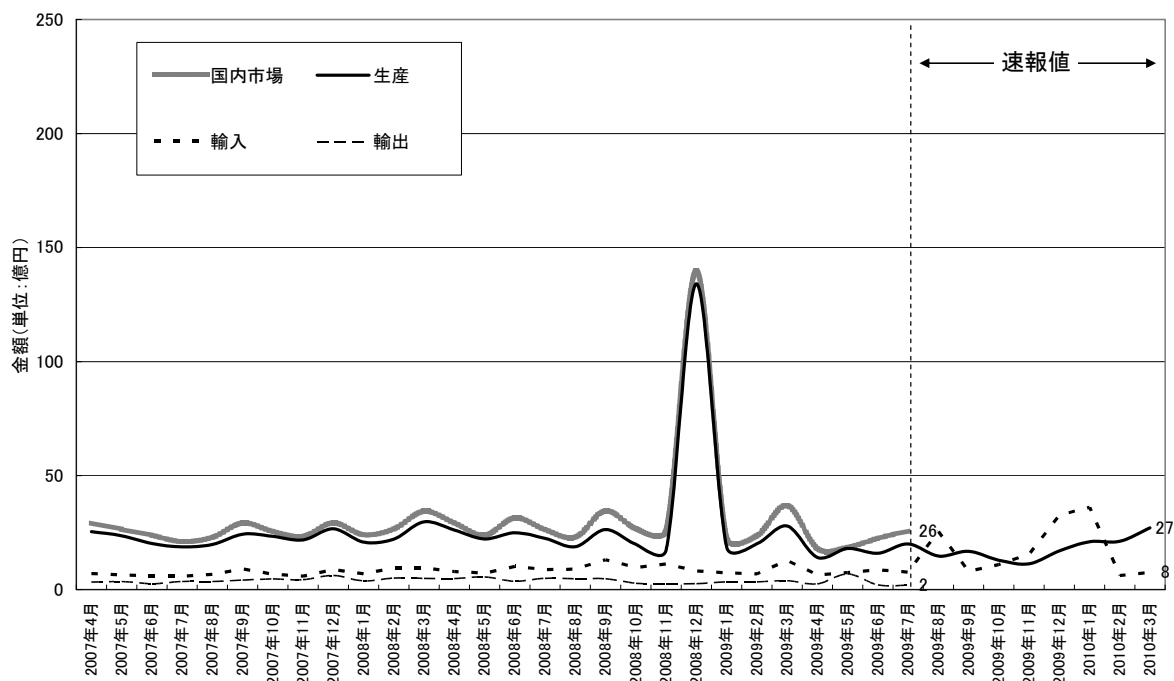


図10 施設用機器の生産金額、輸入金額

8. 生体機能補助・代行機器の生産金額、輸入金額の推移

生体機能補助・代行機器における2010年3月の生産金額は195億円で、前月比32.1%増、対前年同月比10.9%増であった。輸入金額は256億円で、前月比29.6%減、対前年同月比9.3%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産43.2%、輸56.8%である。前月の生産28.8%、輸入71.2%に比べ生産割合が14.4ポイント増加し、前年同月の生産38.3%、輸入61.7%と比較すると生産割合が4.9ポイント増加している。

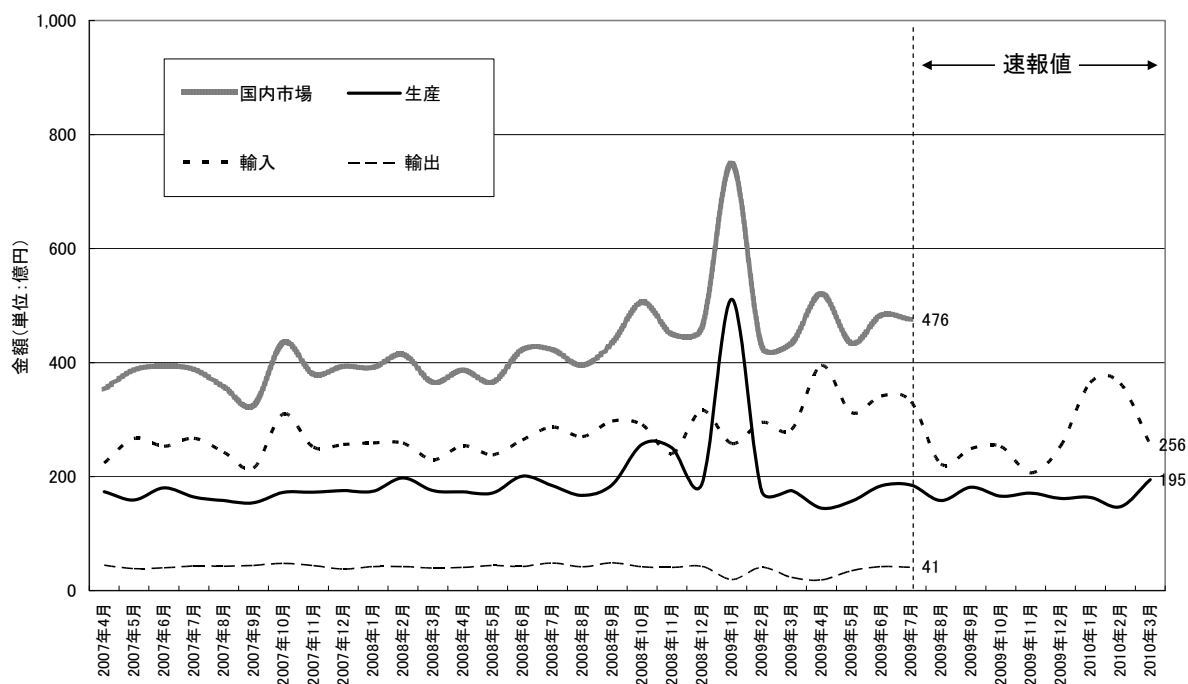


図11 生体機能補助・代行機器の生産金額、輸入金額

9. 治療用又は手術用機器の生産金額、輸入金額の推移

治療用又は手術用機器における2010年3月の生産金額は108億円で、前月比157.4%増、対前年同月比66.5%増であった。輸入金額は109億円で、前月比81.8%減、対前年同月比80.8%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産49.8%、輸入50.2%である。前月の生産6.6%、輸入93.4%に比べ生産割合が43.2ポイント増加し、前年同月の生産51.9%、輸入48.1%と比較すると生産割合が2.1ポイント減少している。

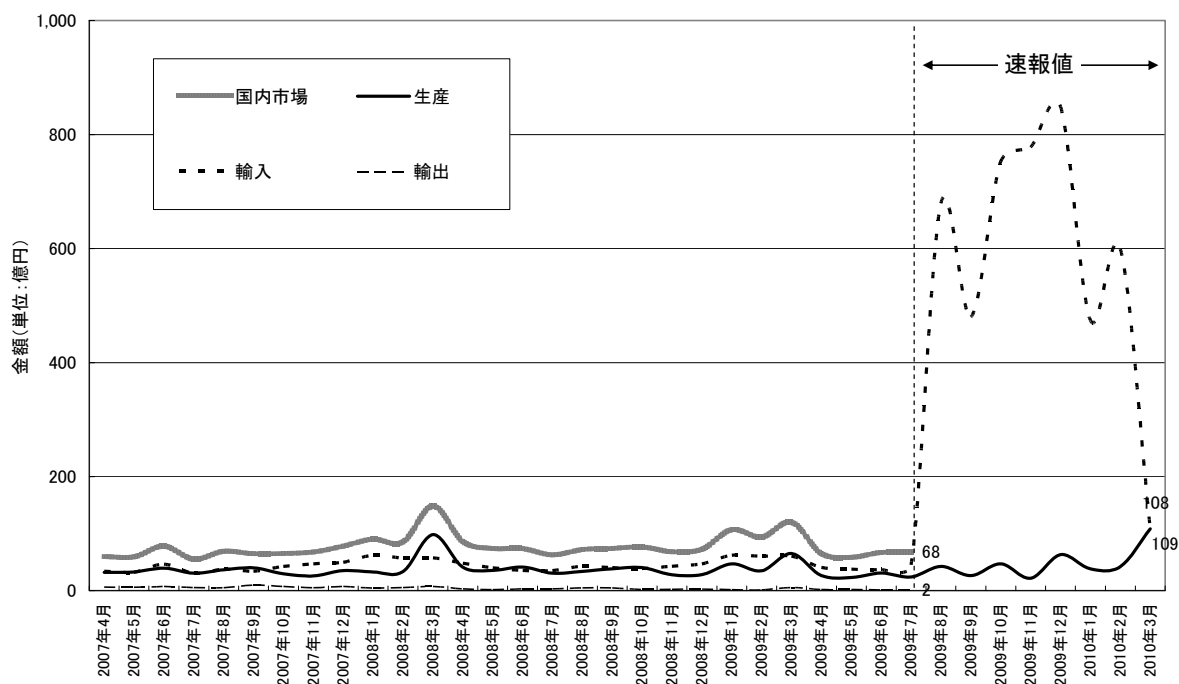


図12 治療用又は手術用機器の生産金額、輸入金額

10. 歯科用機器の生産金額、輸入金額の推移

歯科用機器における2010年3月の生産金額は36億円で、前月比4.0%減、対前年同月比18.1%減であった。輸入金額は7億円で、前月比21.7%減、対前年同月比45.9%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産83.0%、輸入17.0%である。前月の生産80.0%、輸入20.0%に比べ生産割合が3.0ポイント増加し、前年同月の生産76.4%、輸入23.6%と比較すると生産割合が6.6ポイント増加している。

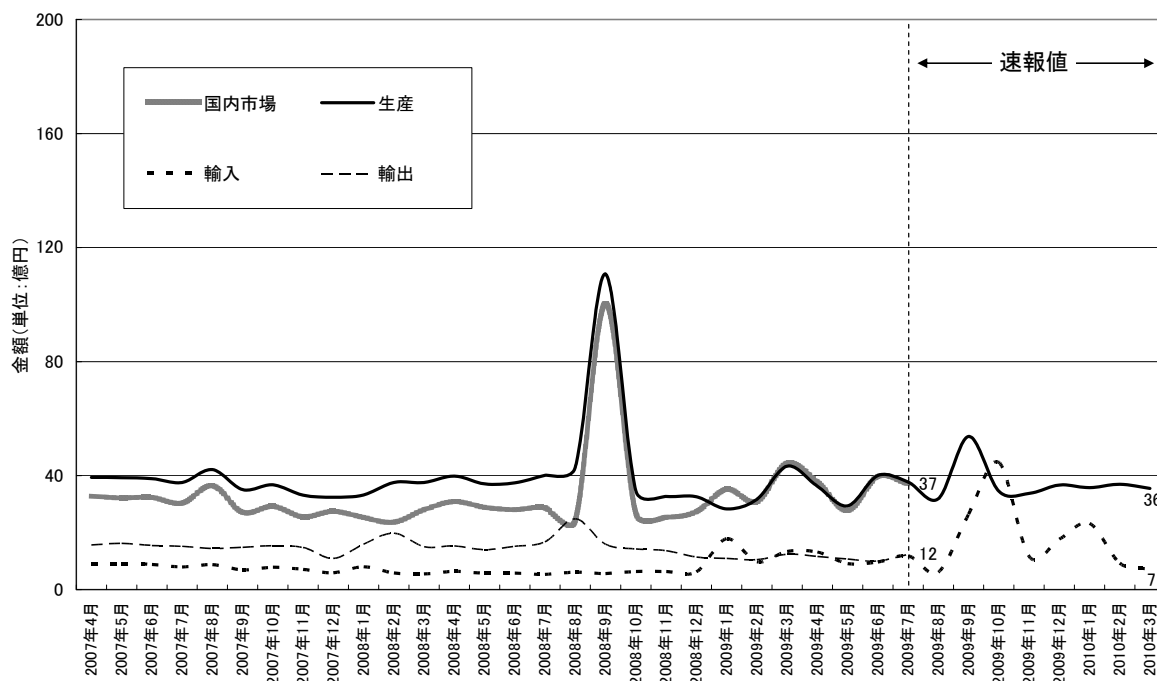


図 13 歯科用機器の生産金額、輸入金額

11. 歯科材料の生産金額、輸入金額の推移

歯科材料における2010年3月の生産金額は68億円で、前月比10.0%減、対前年同月比29.5%減であった。輸入金額は18億円で、前月比13.1%減、対前年同月比6.2%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産78.7%、輸入21.3%である。前月の生産78.1%、輸入21.9%に比べ生産割合が0.6ポイント増加し、前年同月の生産83.1%、輸入16.9%と比較すると生産割合が4.4ポイント減少している。

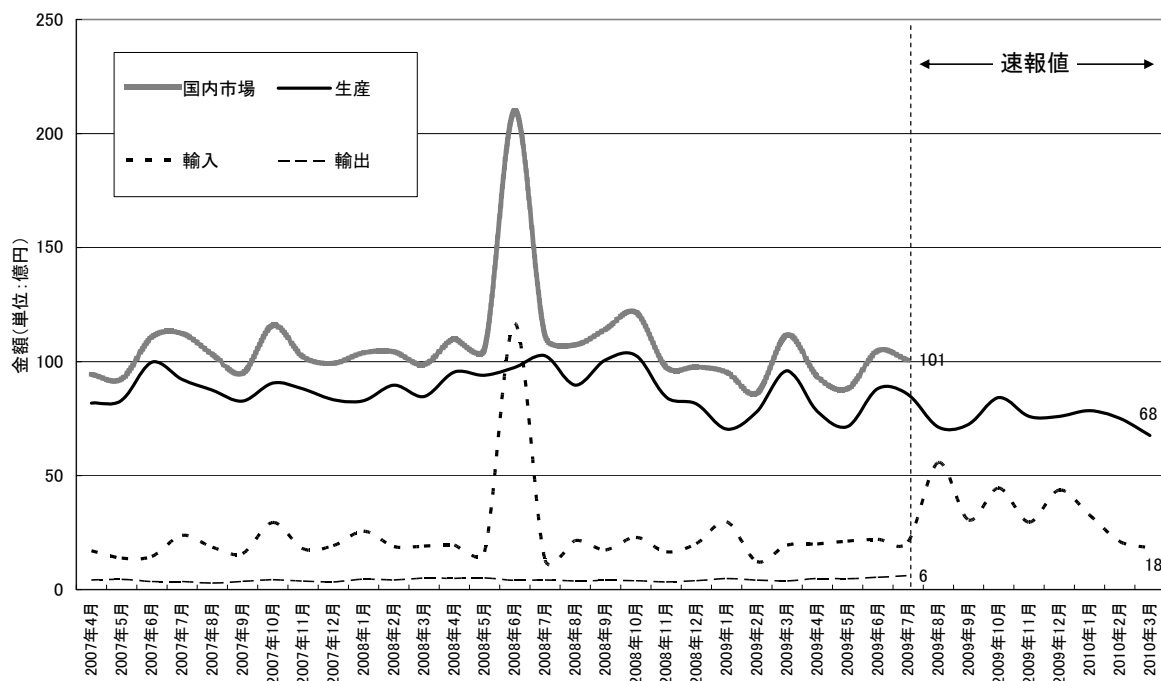


図14 歯科材料の生産金額、輸入金額

12. 鋼製器具の生産金額、輸入金額の推移

鋼製器具における2010年3月の生産金額は12億円で、前月比91.2%減、対前年同月比13.4%増であった。輸入金額は26億円で、前月比6.4%増、対前年同月比5.6%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産32.0%、輸入68.0%である。前月の生産85.0%、輸入15.0%に比べ生産割合が50.3ポイント減少し、前年同月の生産30.5%、輸入69.5%と比較すると生産割合が1.5ポイント増加している。

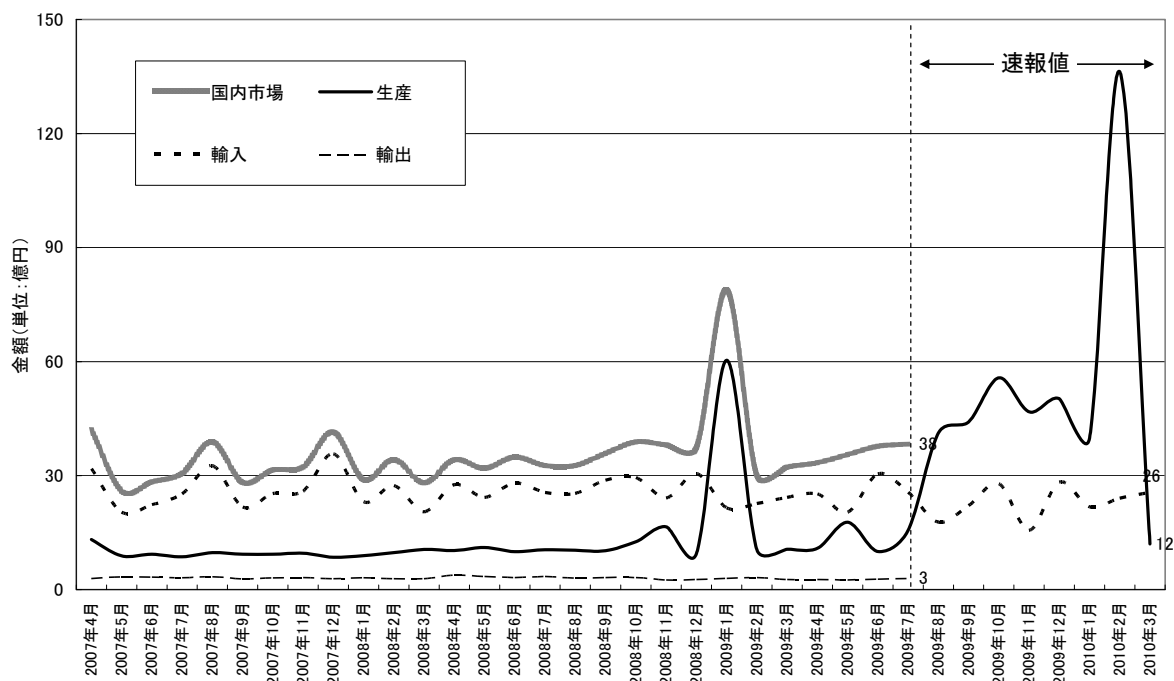


図15 鋼製器具の生産金額、輸入金額

13. 眼科用品及び関連製品の生産金額、輸入金額の推移

眼科用品及び関連製品における2010年3月の生産金額は47億円で、前月比20.8%増、対前年同月比20.4%減であった。輸入金額は128億円で、前月比4.1%増、対前年同月比10.4%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産26.8%、輸入73.2%である。前月の生産24.0%、輸入76.0%に比べ生産割合が2.8ポイント増加し、前年同月の生産29.2%、輸入70.8%と比較すると生産割合が2.4ポイント減少している。

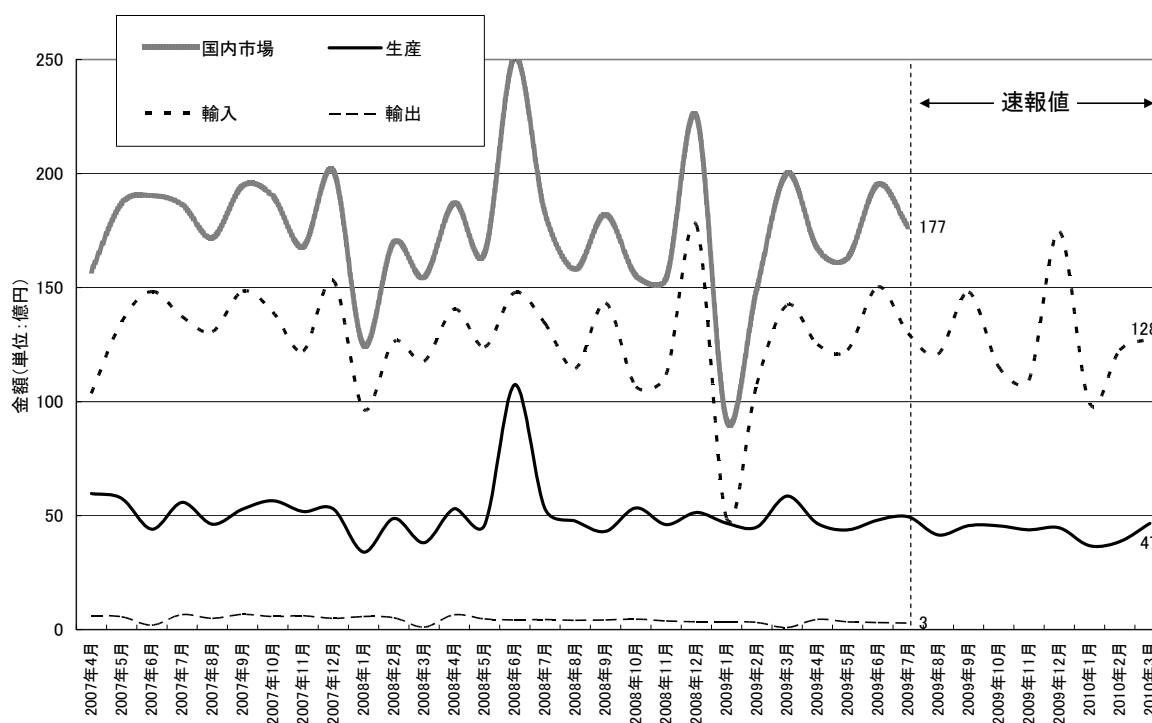


図16 眼科用品及び関連製品の生産金額、輸入金額

14. 衛生材料及び衛生用品の生産金額、輸入金額の推移

衛生材料及び衛生用品における2010年3月の生産金額は4億円で、前月比76.4%増、対前年同月比58.4%減であった。輸入金額は7億円で、前月比25.4%増、対前年同月比7.8%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産36.2%、輸入63.8%である。前月の生産28.7%、輸入71.3%に比べ生産割合が7.5ポイント増加し、前年同月の生産55.7%、輸入44.3%と比較すると生産割合が19.5ポイント減少している。

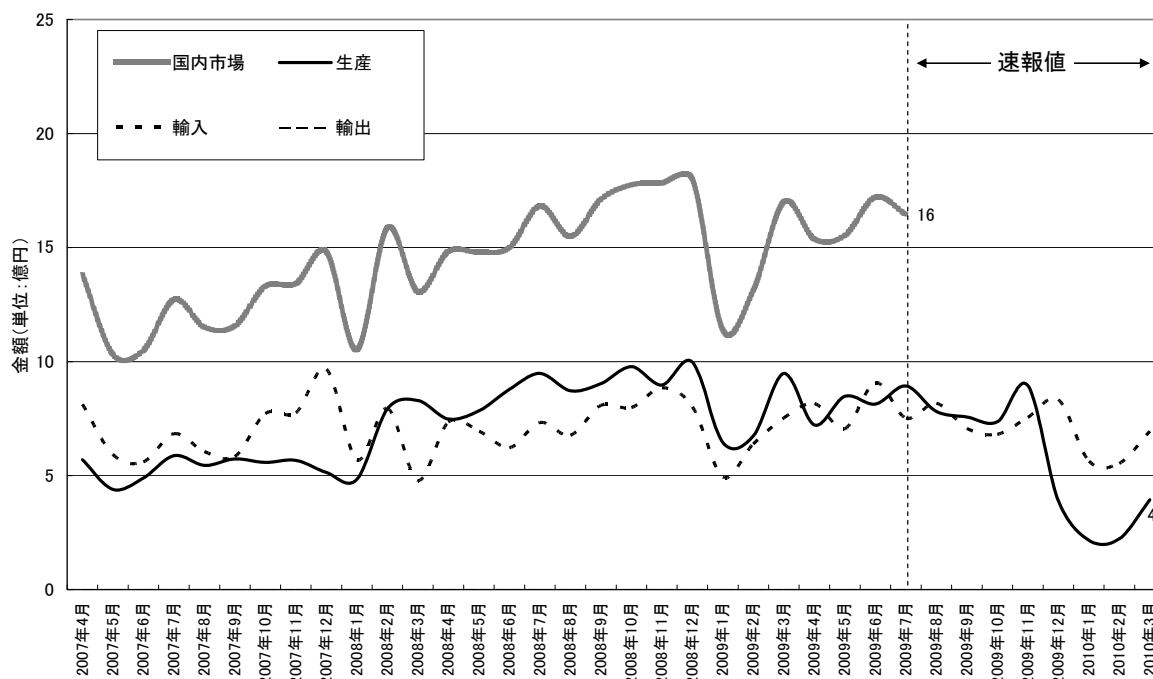


図 17 衛生材料及び衛生用品の生産金額、輸入金額

15. 家庭用医療機器の生産金額、輸入金額の推移

家庭用医療機器における2010年3月の生産金額は74億円で、前月比9.2%増、対前年同月比3.4%減であった。輸入金額は19億円で、前月比38.6%増、対前年同月比2.6%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産79.3%、輸入20.7%である。前月の生産83.0%、輸入17.0%に比べ生産割合が3.7ポイント減少し、前年同月の生産80.3%、輸入19.7%と比較すると生産割合が1.0ポイント減少している。

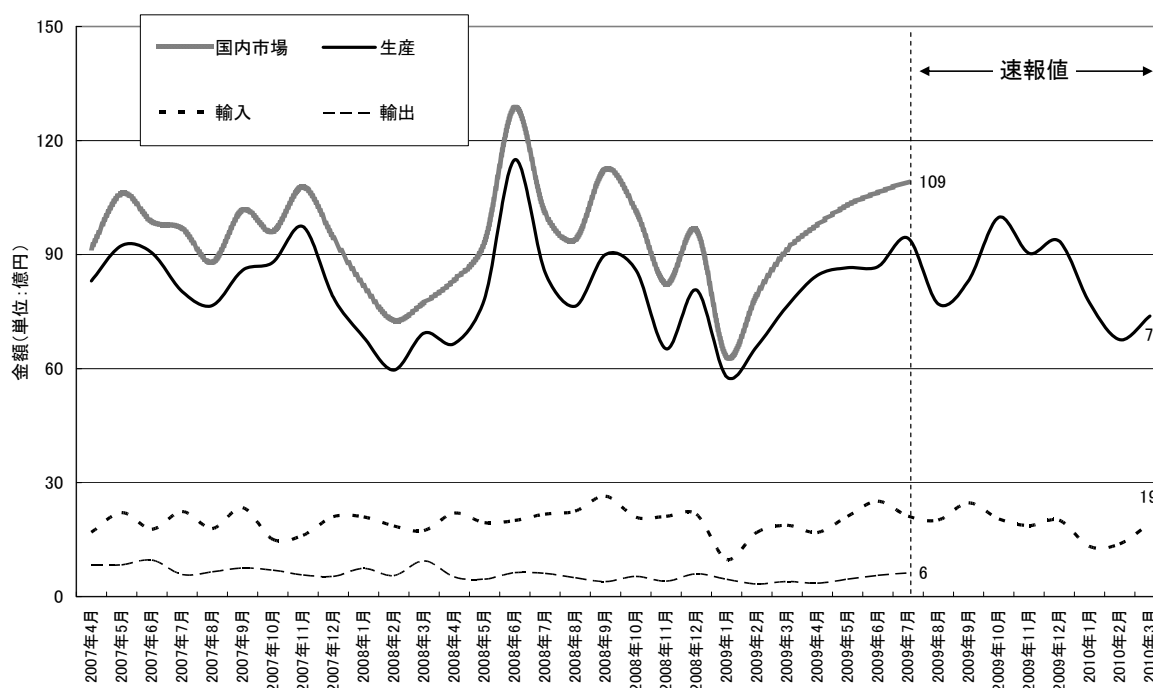


図 18 家庭用医療機器の生産金額、輸入金額

【その他参考図】

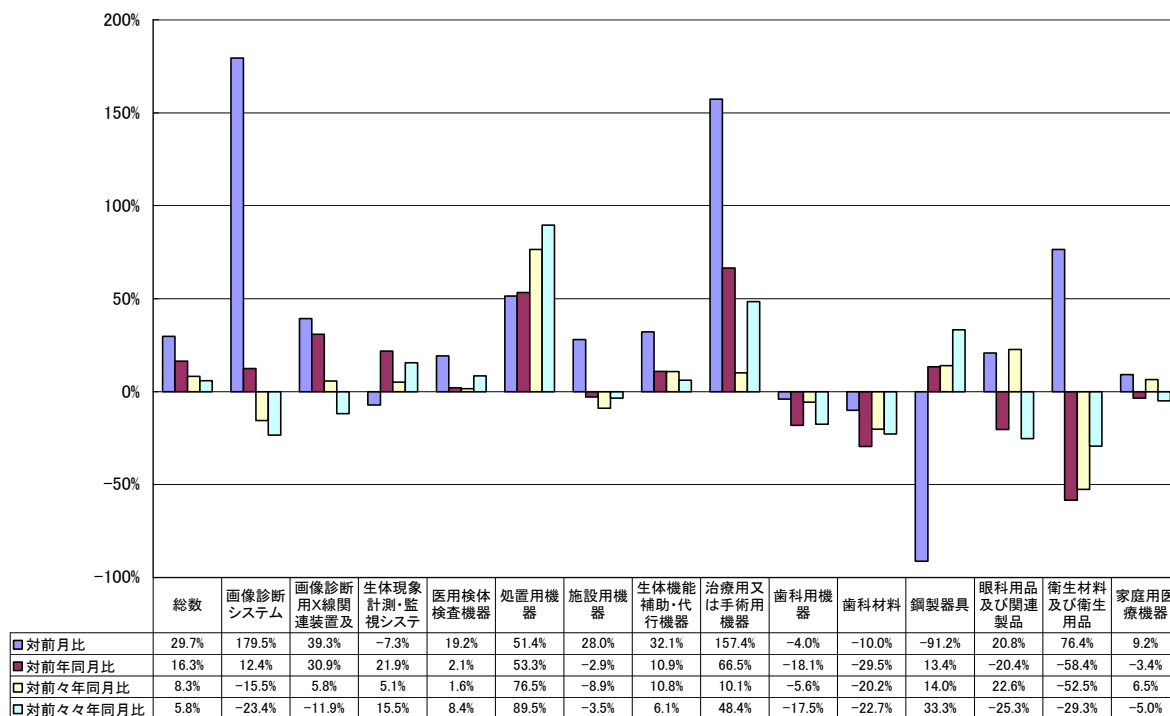


図 19 生産金額の増減比

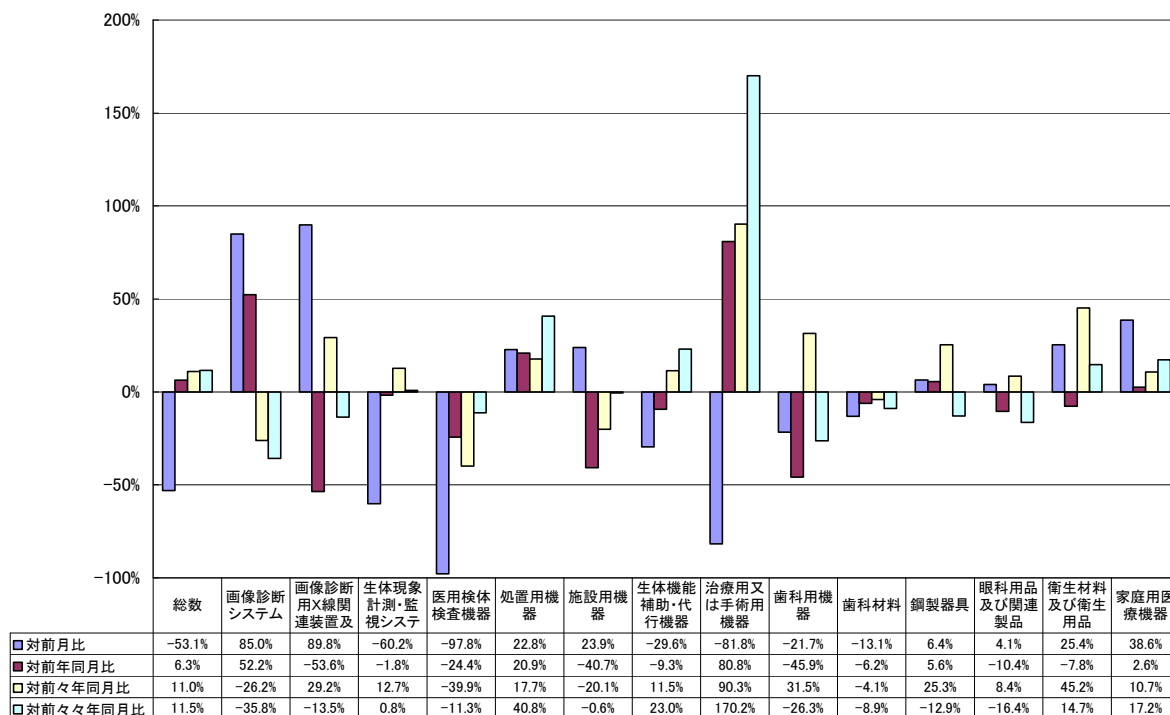


図 20 輸入金額の増減比

本ファクトシートは、研究上の討論のために配布するものである。本ファクトシートを研究上の討論に引用、利用することは妨げないが、引用、利用または参照等したことによって生じたいかなる損害にも著者、財団法人医療機器センター及び医療機器産業研究所のいずれも責任を負いません。

本ファクトシートに記された意見や考えは著者の個人的なものであり、財団法人医療機器センター及び医療機器産業研究所の公式な見解ではありません。

【内容照会先】

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所 主任研究員 中野壮陸

電話：03-3813-8553 FAX：03-3813-8733

E-mail：mdsi@jaame.or.jp